

第 33 期 新潟市社会教育委員会議 建議「社会教育による次世代育成について」対応状況

提言	所管課	対応状況
		R5 年度末時点
<p>【第 2 章 第 2 節】事例研究 1</p> <p>地域にとって一番重要なこととは</p> <p>→高校生の地域貢献活動を活発化させる環境づくり、高校生などを積極的に受け入れる地域の土壌づくり</p>	地域教育推進課	<p>【対応済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ふれあいスクール事業において、高校生ボランティアの受け入れ</li> <li>地域と学校パートナーシップ事業において、地域の小学校や放課後児童クラブで高校生が授業を実施</li> </ul>
	生涯学習センター・公民館	<p>【対応済み】</p> <p>■具体的内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高校との連携事業については、市内 5 区で 10 事業を実施した。内訳は「地域活性化」、「ものづくり体験」、「伝統文化継承」などを目的とした講座・イベント等。事業内容によって、生徒の関わり方には濃淡があるが、運営スタッフとしてだけでなく企画段階から協力するケースもある。</li> </ul> <p>■実施理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学生が地域活動に参画していくことは、必然的に地域の大人たちとの交流へとつながる。</li> <li>地域で様々な世代の人たちと出会い、協働することで、社会性・協調性等が育まれることが期待できるとともに、地域の人たちとの交流を通じて、「地域への愛着」形成を図ることができる。</li> </ul> <p>■今後の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各区公民館は、可能な範囲で市内小・中学校、高等学校・大学との連携に取り組んでいるが、特に高校との連携は難易度が高い。今後も、取り組みの維持・向上を目指していくが、「高校生の地域貢献活動を活性化させる環境づくり」を実現するには、学校の「地域づくりへ参画する」意識の醸成が必須と考える。</li> </ul>
	図書館	<p>【一部対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中央図書館で「TEENS～学生司書」事業を行い、小学校高学年から高校生までの参加者が主体的に、図書館に来館する利用者に読書の楽しさを伝えるリーダーとなり、ポップ作成やこども向けイベントの協力等活動を行っている。</li> </ul>
<p>【第 2 章 第 2 節】事例研究 2</p> <p>若い世代が地域課題を考え行動をつなげるために</p> <p>→地域教育コーディネーターを中心とした地域とのかかわりによる学校教育の展開</p>	地域教育推進課	<p>【対応済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域と学校パートナーシップ事業において、高校の探究学習や小・中学校の総合的な学習の時間に学生と地域住民による地域の課題や未来の展望等について意見交換する活動を実施</li> </ul>
	生涯学習センター・公民館	<p>【対応済み】</p> <p>■具体的内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校教育コーディネーターとの連携事業数は 90 事業を超えるが、防災や伝統文化に関するものから料理や昔の遊び体験など、その内容は多岐にわたる。</li> <li>ただし、そのほとんどは学校外活動として位置付けられている。</li> </ul> <p>■実施理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>講座やイベントへの参加を通じて、異学校異学年交流、地域の多世代交流を促進することで、小・中学生の社会性や協調性等が育まれることが期待できる。</li> <li>学校と地域をつなげる機会になり得る。</li> </ul> <p>■今後の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「地域の担い手不足」が全国的課題となっている中、大人への成長過程において「地域への貢献意識」を育むためには、地域とともに生活する住民たちへの愛着が必要と考えているため、公民館主催事業では、テーマによらず、参加者同士の意見交換を通じて交流が図れるような手法を可能な限り取り入れている。（子どもたちに対しては特に多世代交流、異学校異学年交流が必要と考えている）</li> <li>学校外活動として関われる部分は、地域教育コーディネーターや地域コミュニティ協議会と連携しながら現状でも様々な取り組みを行っているが、学校内で行われる教育活動（例えば授業や学校行事）にも関わることができれば、より効果的な取り組みとなることが期待できる。</li> </ul>
	図書館	<p>【一部対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>万代高校 1 年生「総合的な探究の時間」に、課題発見と解決について一緒に考える「探究サポーター」として図書館職員が参加し、生徒たちの社会参画意識を育てるとともに、地域の活性化やまちづくりに携わっている。</li> </ul>
<p>【第 2 章 第 2 節】事例研究 3</p> <p>未来型社会教育の担い手を育成する</p> <p>→近隣企業等との連携による、企業からのサポート体制の確立</p>	地域教育推進課	<p>【対応済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コンソーシアム会議で高等学校と新潟市の方針に賛同した企業で連携についての話し合いを実施</li> <li>高等学校の探求授業で企業が講師や生徒の提言に回答</li> </ul>
	生涯学習センター・公民館	<p>【対応済み】</p> <p>■具体的内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公民館主催の 26 事業において、民間企業との連携事業を実施した。主な内容としてはデジタルデバインド解消を目的とした「スマホ関連事業」、高齢者を対象とした「健康・生きがい・仲間づくり関連事業、地域住民の交流を目的とした「地域活性化関連事業」であった。</li> </ul> <p>■実施理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近年、民間企業の社会教育参画が活発化傾向にあるが、各企業が専門とする分野の知見を活用した社会貢献活動との連携は、予算・人員が減少傾向にある公民館にとって有意義と考えている。</li> </ul>

		<p><b>■今後の方針</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館の取り組みにおける民間企業との連携は今後ますます進んでいくものと思われる。現在は主に高齢者をターゲットとした内容ではあるが、民間企業との連携の幅を広げ、地域の担い手育成につなげるべく検討をしていきたい。</li> </ul>
<p><b>【第2章 第2節】事例研究4</b></p> <p>地域課題を見極め、住民参加型の人材育成を仕掛ける</p> <p>→地域課題を解決するために、目的を明確にし、住民の自発的活動を促す行政のかかわり方</p>	地域教育推進課	<p><b>【対応済み】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と学校パートナーシップ事業において、高校の探究学習や小・中学校の総合的な学習の時間に学生と地域住民による地域の課題や未来の展望等について意見交換する活動を実施</li> </ul>
	生涯学習センター ・ 公民館	<p><b>【対応済】</b></p> <p><b>■具体的内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域課題や地域の魅力について、参加者が学び、意見交換する講座を市内16公民館で30講座実施した。</li> </ul> <p><b>■実施理由</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の課題を知り、主体的に課題解決方法を考えることを通じて、地域への貢献意識が育まれることが期待できる。</li> </ul> <p><b>■今後の方針</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前述した地域課題学習を引き続き実施するとともに、地域への貢献意識は地域への愛着から芽生えることに着目し、これまで以上に「地域の多世代交流」を通じた地域への愛着醸成に取り組んでいく。(地域への愛着を育むには、子どもから大人へと成長する過程において、地域の人たちと日常的に関わりを持つことが重要と考える。単なる課題学習では貢献意識を育む動機付けには不十分。)</li> <li>・公民館主催講座では、テーマを問わず参加者が意見交換・交流できる手法を可能な限り取り入れ、地域の多世代交流、生徒・児童の異学校異学年交流などに取り組んできたが、さらなる効果を求めるならば、地域づくりへの「学校の参画」が必須と考える。</li> </ul>
	図書館	<p><b>【一部対応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの読書活動や、紙による読書が困難な市民への読書活動の推進のため、「読み聞かせボランティア養成講座」や「対面朗読ボランティア養成講座」を行った。受講後の活動について、既存グループへの加入や自主グループ結成に繋げるなど、図書館内外を問わず活動を継続できるよう支援している。</li> </ul>
<p><b>【第2章 第3節】事例研究1</b></p> <p>高校生が地域貢献活動などに参加しやすい環境づくり</p> <p>→探究活動・地域貢献活動の充実、小中学校や高校と連携した講座の継続・充実、高校生の地域貢献活動に対する評価の仕組みづくり</p>	地域教育推進課	<p><b>【一部対応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と学校パートナーシップ事業において、学校が設置されている地域の学習を実施</li> </ul>
	生涯学習センター ・ 公民館 公民館	<p><b>【対応済み】</b></p> <p><b>■具体的内容①</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・にいがた市民大学は30歳未満の学生に受講料半額制度を設けた。さらに、公開講座は高校生以下の受講は無料にしている。第30期の節目を迎えるR6年度は公開講座に限らず高校生以下の受講料無料をめざしR5年度の運営委員会で検討し学習機会の拡充に努めた。また、学習欲求を満たすため、一部の講座は場所・時間と交通費のリスクの無いオンライン講座を設け受講体制を整えた。</li> </ul> <p><b>■実施理由</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学んだ成果を教育活動や地域活動に活かすことと、あらゆる世代の市民に学習機会を提供した。</li> </ul> <p><b>■今後の方針</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民大学運営委員会と連携し誰でも参加可能な受容性のある講座を目指す。</li> </ul> <p><b>■具体的内容②</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東地区公民館ではR2～4年度まで万代高校ESSと英語でまち歩きを取り組み、3年間連携して成果があったのでR5年度から公民館は手を引いた。3年の実績で自信をつけた高校ESSは校内のほか部活動と協働して学校の特色を生かしたまち歩きに方向を転換した。</li> <li>・一部の公民館では公民館事業やコミ協のイベントに学生のアイデアを取り入れた。学生の行動が活気を与え、世代を超えた交流が生まれ地域コミュニティの絆を深めた。</li> </ul> <p><b>■実施理由</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域課題解消への意識啓発および、地域コミュニティ活動活性化に資する人材の発掘、育成のために想像力豊かで行動力のある学生の力を求めている。</li> </ul> <p><b>■今後の方針</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域教育コーディネーターがいる市立高校は連携を図りやすいが、今後は、地域教育コーディネーターがいない県立高校と探求の時間を足掛かりに距離を詰めていく。</li> </ul>
	図書館	<p><b>【一部対応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟市地域魅力創造事業での明鏡高校ボランティア活動に協力し、高校生の活動の一部に、図書館のサポーターである中央図書館友の会の活動に組み込み、一緒に活動した場面もあった。</li> <li>・(再掲) 万代高校1年生「総合的な探究の時間」に、課題発見と解決について一緒に考える「探究サポーター」として図書館職員が参加し、生徒たちの社会参画意識を育てるとともに、地域の活性化やまちづくりに携わっている。</li> </ul>

<p>【第2章 第3節】事例研究2 学生の活力と専門性を生かした主体的活動。「活動成果を発表し合える場」、「情報を交換できる場」の創設。 →学習者同士による「活動成果を発表し合える場」、「情報交換できる場」づくり</p>	<p>地域教育 推進課</p> <p>生涯学習 センター ・ 公民館</p>	<p>【一部対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高等学校の探究活動で学習成果の発表会を実施</li> </ul> <p>【対応済み】</p> <p>■具体的内容①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門学生から学ぶパソコン・スマートフォン教室を実施した。具体的には学生が講師になり地域の住民を対象にパソコンやスマートフォン教室を実施した。開催にあたり学生が複数案の講座をプレゼンして、その中から6講座を選考し実施した。</li> </ul> <p>■実施理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民、学生、生涯学習センターが協働し、教える学生と教わる地域の人とが「共に学べる環境づくり」に取り組むことで、地域の活性化につなげる機会とした。</li> </ul> <p>■今後の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習センターは中央公民館と一体になったので情報共有を図り、より学生を活用した事業を進めていく。</li> </ul> <p>■具体的内容②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・白根地区公民館は、白根高校授業「総合的な探究の時間」と連携し、前年度提案した地域課題解決方法を地域で実践する取り組みを行った。</li> </ul> <p>■実施理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域課題に向き合い、考え、行動するなど、地域を担う若者を育成することを目的に、区内唯一の高校・白根高校生を対象に、地域課題解決方法を考える取り組みを行った。</li> </ul> <p>■今後の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・白根高校のような学生主体の活動が大学入試の総合型選抜に有効なため、公民館と連携が有益と思ってもらえるよう高校に働きかける。</li> </ul>
<p>【第2章 第3節】事例研究3 青年期の学びに対する社会教育としての支援 →主体的な活動者に対する側面的支援(例:地域団体や行政等とのコーディネート機能の発揮、社会教育主事の積極的活用、職員全般の資質向上)、企業等との連携による青年層を対象としたビジネスに活かすことのできる実践的な学習機会の提供</p>	<p>生涯学習 センター ・ 公民館</p> <p>図書館</p>	<p>【対応済み】</p> <p>■具体的内容①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事例研究2の専門学生から学ぶパソコン・スマートフォン教室の実施で、生涯学習センターは会場、チラシの作成、広報など側面からこの講座を盛り立てた。</li> </ul> <p>■実施理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高等教育機関と連携し、時代や社会の変化並びに市民の学習ニーズに応じた学習機会を提供することで学生の地域貢献の場を設け、より魅力ある人材育成を目指した。</li> </ul> <p>■今後の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習センターが中央公民館と一体になったので情報共有を図り、青年期の学びを深める事業を検討する。</li> </ul> <p>■具体的内容②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央区公民館がユースセミナーを実施した。内容は、傾聴、人権、趣味など社会人として資質向上を図る講座を実施した。</li> </ul> <p>■実施理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・20代30代を対象とした事業を実施することで、若者が公民館や生涯教育と出会うきっかけづくりや交流・学びの場を提供した。</li> </ul> <p>■今後の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習センターが中央公民館と一体になったので情報共有を図り、青年期の学びを深める事業を検討する。</li> </ul> <p>【一部対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これから起業したい、ビジネスを始めたい人を対象とした「ビジネス支援セミナー」を、新潟IPC財団から講師に迎えて開催。図書館でのビジネス支援の他、市の特定創業支援事業の案内等を行っている。</li> </ul>
<p>【第2章 第3節】事例研究4 プロジェクトチーム型を広げていこう →住民主導のプロジェクトチーム型によるまちづくりの取組みと発信</p>	<p>生涯学習 センター ・ 公民館</p>	<p>【対応済み】</p> <p>■具体的内容①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・にいがた市民大学の運営委員会を設置し、様々な専門分野の委員の助言を受けてあらゆる世代に向けた学習機会を提供している。委員会の検討事項に、高度で専門的な学習欲求に答える高等教育コンソーシアムにいがたの提案講座や市民提案講座が含まれ幅広い視点で講座を組み立てた。</li> </ul> <p>■実施理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟市ならではの独自性を観点に市民の多様な学習要求に応えるため市民大学運営委員会を通じ、幅広い学習の機会を設けた。学んだことを地域に還元できるような講座を実施した。</li> </ul> <p>■今後の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義内容、体制に偏りがないう市民大学運営委員会の助言を受けて市民大学を継続していく。</li> </ul> <p>■具体的内容②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事例研究1の万代高校のESSの英語でまち歩きは、開始当初から、地域、学校と公民館の連携した取り組みで、回数を重ねるごとに人が人を呼び交流も増えた。学生は、よりよいまち歩きにするため地域を学ぶきっかけとなり、R5年度から学校単独開催に転換したが地域学習は続いている。</li> </ul> <p>■実施理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学社民の連携を念頭に、地域の絆づくり、多世代交流に取り組む公民館は、日ごろからコミ協などの地域団体、</li> </ul>

		<p>小、中学校と連携し社会教育活動の促進を行ってグループ化を目指している。</p> <p><b>■今後の方針</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民主導のプロフェクトチーム型のようなグループには、チームをまとめ推進力のあるリーダーが必要である。</li> <li>・公民館は、活動を担う人材を育成、支援していく。</li> </ul>
	図書館	<p><b>【一部対応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央図書館で活動しているグループと共催で「ブックカフェ」を開催している。本について気軽に話のできる場を地域に作ることを目指した、少人数コミュニティ型のビブリオバトルを実施し、本を通じて人と人を繋ぐ場を地域に創り出している。</li> </ul>

※「対応状況」欄にカッコ書きで記載の区分について

【対応済み】は、対応済みのもの。

【一部対応】は所管課で行うべき範囲で対応したもの、又は行うべきもののうち一部は対応したが、一部は対応できていないもの。

【検討中】は対応を検討しているもの、又は対応方針を決定したが対応できていないもの。